

第7回学生主催若手合宿研究交流会 募集要項

1. 第7回学生主催若手合宿研究交流会について

学生主催若手合宿研究交流会は、毎年学生主催で開催されている合宿で、イノベーションの礎となり生命機能研究科の理念でもある「異分野融合」の推進と、将来を担う人材の育成を目的として開催されてきました。

「pioneer yourself, pioneer new field」

第7回となる今回は「pioneer yourself, pioneer new field」をテーマとして掲げ、異分野交流の幅を広げるために、生命機能研究科・情報科学研究科・基礎工学研究科の3学科から参加者を募ります。学科の壁を越えて新たな研究視野を開いてほしいという思いからこのテーマを設定し、合宿内容もパワーアップしたものとなっています。例年本研究科だけでなく、名古屋大学や海外研究者も多数参加していただいています。さまざまな学術領域の学生・若手研究者が集まり大いに議論をすることで将来の「異分野融合を通じた“おもしろい”研究」につなげていきましょう。

皆様のご参加、心よりお待ちしております。

第7回学生主催若手合宿研究交流会 実行委員長 三須晃裕

2. 先生方からのお誘いのメッセージ

若手合宿に参加される大学院生、PD 研究員、特任助教、助教の皆さん

生命機能研究科の GCOE プログラムは 2012 年 3 月で終了しましたが、プログラムで毎年夏に実施してきた学生主催の若手合宿研究交流会については、研究科が特別経費として文部科学省からいただいた生命動態イメージングプロジェクト（2012 年-2016 年）予算により、今年度も継続して開催できることになりました。今年で 7 回目です。

2011 年 3 月の東日本大震災からの復興は遅々として進まず、まだまだ大勢の方達が苦しい生活を強いられています。その影響をほとんど受けず平穏に暮らしている我々にできることは、いろいろな意味で大きな危機にある日本や世界の将来をいかにして支え、豊かに発展させる方策を考えることです。どのような危機も乗り越えていける強い日本をつくり、人類社会を豊かに発展させる科学技術を産み出せるよう、視野を広げてよく考え、研究を進めることです。とは言え、すぐに役立つ研究成果を求めるのではなく、多くの人に感動を与えるような「おもしろい研究」をめざすことこそが、長い目で見て将来の役に立つ成果につながるのだと信じています。

生命機能研究科で我々がめざすのは、基礎生命科学、医学、理学、工学を含む広い範囲で様々な研究分野の融合を推進し、従来の生命科学の枠組みを越えた世界最高水準の分野横断的教育研究拠点をつくること。国際交流を推進して次世代の国際社会を担う若手人材を育成することです。

主役は学生と若手研究者である皆さんです！

生命機能研究の様々な分野を世界の最先端で牽引するこの研究科で、研究の枠組みをぶち破り、さらに高いレベルに発展させて、未来の予測医療や新しい原理に基づくものづくり、耐障害性の高いシステム作りに展開させるためには、異なる分野で教育を受けた皆さんがお互いの垣根を越えて密に議論を重ね、新しい研究分野や研究手法を切り開く以外に道はありません。各グループの研究を個別に推進するだけでは実現不可能な「未知の領域への挑戦」。これがこの研究交流会のキーワードです。是非この会に参加して生命機能研究の未来をじっくり語り合ってください。きっとそこに何かが生まれるはずですよ。

この学生主催若手合宿研究交流会は、異分野融合の積極的な推進のためにと考えた活動の一つであり、生命機能研究科の活動のなかでも最も重要なものです。皆さん一人一人がこの機会を積極的にかつ有効に活用し、普段はあまり話し合う機会のない研究分野の人たちといろいろな話をするきっかけにして、今後の研究に役立てて欲しいと思います。

海外から大学院生や若手研究員を招いてこの会を開催するのも 5 回目となりました。今年はリーディング大学院「ヒューマンウエアイノベーション博士課程プログラム」の支援により、海外からも 10 数名の若手を招聘する予定で、彼らも皆さんと一緒に異分野融合への旅の始まりを満喫してくれると期待しています。

この貴重な機会を大いに楽しんでください。そうするうちに必ずどこかで「おもしろい研究」が生まれてくるはずです。それを楽しみにしています。

難波啓一 学生主催若手合宿研究交流会担当教授

柳田敏雄 生命動態イメージングプロジェクト特任教授

濱田博司 生命機能研究科長

3. 開催日程

2013年7月29日（月）～7月31日（水）（2泊3日）

4. 会場

KKR 京都 くに荘 (<http://www.kuniso.com>)

京都御所に近く、鴨川のほとりに建つホテル。美味しい料理と天然温泉が待っています。

5. 合宿内容

（1）ポスターセッション

各個人が持ち寄ったポスターを用いて、自分の研究を紹介してください。このポスターセッションを通じて、様々な分野の研究者との交流、意見の交換を行います。

（2）グループディスカッション

本年度の合宿テーマである「Pioneer yourself, Pioneer new field」をうけて、グループディスカッションもこれまでの流れを一新し、新たな境地を築きます。今回のグループディスカッションではテーマを設けません。皆様自身にテーマを考えて頂きます。つまり、皆様自身の手で1からグループディスカッションを創って下さい。

皆様にはグループディスカッションで話したい興味のある科学的トピックを、参加申し込み時に教えて頂きます。当日は、グループ内でどのテーマにするか話し合い、テーマを1つに決め、ディスカッションし、最終日に発表してもらうという流れです。

科学的トピックは皆様が興味を持っていれば、ジャンルは問いません。専門的に研究に繋がっても、一般的に社会問題に広がっても構いません。とても自由度の高い試みですが、その自由を楽しんで頂ければ幸いです。

（3）特別講演

研究者として第一線で活躍されている方をお招きし、研究内容や、研究者としての生き方などについてご講演いただく予定です。本年度は、理化学研究所 生命システム研究センターより、

渡邊朋信 先生 (<http://www.qbic.riken.jp/lcb/site1/index.html>)

にご講演いただけることになりました。

渡邊先生は、生命現象を複雑な遺伝子発現や蛋白質間相互作用の複雑系の情報遷移として理解する目的のため、顕微鏡技術、培養技術、生化合成技術、無機材料技術等を駆使し、生命の複雑系システムを計測する技術の開発、及び、計測を行っています。これらの成果は、再生医学、免疫学・脳神経科学、創薬などのメディカルデザイン、病原体の予測・予防など多方面に大きな貢献を期待されます。

(4) エクスカーション

合宿で出会った人々や同じグループのメンバーと、年齢や分野の壁を越えてお互いの理解と親交をより深めていただくとともに、京都名所の歴史的建造物を楽しんで気分転換をしていただける機会を提供します。次の2コースから選んでいただけます。

<平安神宮コース>

平安遷都1100年を記念して桓武天皇を祀るために創られた文化遺産です。平安当時の建築様式をそのまま再現した建造物を楽しめます。

<京都御所コース>

古来の内裏の形態を今日に保存しており、現在のものは1855年に造営されました。一般に公開されていない場所を見学することができます。(予定)

6. 参加対象者

生命機能研究科、情報科学研究科、基礎工学研究科に所属する学生、ポスドク、助教

名古屋大学大学院の理系の学生

海外研究者（各研究室が招聘）

※ 海外研究者を招聘されたホスト研究室に所属の方は、必ずご参加頂きますようお願い致します。

※ 上記の方々うち、生命・情報・基礎工以外から雇用されている方は、生命機能研究科企画室までお問い合わせください。場合によりご参加頂けない場合がございますので、予めご了承ください。上記以外の方で、参加を希望される方も、同様にお問い合わせください。

7. 参加費

22,000円（宿泊費と食費を含む予定額）

※ 予定額です。参加者には後ほど確定額をお知らせいたします。

※ 合宿初日にお支払い頂き、後日旅費として20,000円弱が支給されます。

※ 学生教育研究災害傷害保険（大学院入学時に全員加入することになっています）への加入を参加条件としています。未加入の方は必ず加入しておいてください。また、ポスドクの方は雇用形態によって保険が異なりますので、ご不明な点がございましたら、生命機能研究科企画室までお問い合わせください。

8. 応募方法

若手合宿公式ホームページ(<http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/events/wakate-h25/>)より応募フォーム(Excelファイル)をダウンロードし、必要事項をご記入の上、次のアドレスまで添付ファイルとしてご提出ください。

応募先アドレス：osakau.fbs.studentcommittee@gmail.com

※ 応募フォーム(Excelファイル)のファイル名は「研究科名_学年_氏名.xls」としてください。windowsではExcel 97-2003ブック形式、macではExcel 97-2004ブック形式となります。

例)「生命機能研究科 5 年一貫性博士課程 3 年三須晃裕」の場合
“FBS_D1_AkihiroMisu.xls”

※ 研究科名は生命機能研究科：FBS、基礎工学研究科：ES、情報科学研究科：IST としてください。
また、生命機能研究科は 5 年一貫性ですが、学年表記を統一するため M1,M2,D1,D2,D3 としてください。

※メールの件名は応募フォームと同じ名前とし、特記事項がない場合は、メールの本文は空白のまま送信してください。

9. 応募締切

6月21日締め切り（海外研究者の方は、5月17日まで）

早めのご応募をお待ちしております。

※ 原則、キャンセルはできません。

※ やむを得ない理由により途中参加、途中退場を希望される方は、その理由をメール本文に添えてご応募ください。

※ 参加をご希望の方で、上記期限までに予定が確定しない場合は、応募フォームの該当箇所にその旨を記入してご応募ください。

10. 参加者各位にご用意いただくもの

ポスターセッション用のポスター

参加費

※ これらは必ずご持参下さい。

※ PCは1グループに1台ずつ用意致します（個人PCを持参して頂いても構いません）。

※ 議論等に必要な紙やペン等は、グループごとに用意致します。

※ ポスターセッション用ポスターについて

- ・紙媒体：ヨコ841mm×タテ1189（A0）以下
- ・ご自身の研究内容を印刷した上でご持参ください。
- ・原則、英語で作成してください。
- ・サイズはA0である必要はありません。たとえば発表スライドを印刷して並べたものでも構いません。
- ・研究内容を公にできない場合でも、分子名など特定項目を伏せることで対応できるようでしたら、ぜひご協力をお願い致します。不可能な場合は、すでに公開された過去の研究などでも構いません。

※ 参加費は合宿初日に担当委員が回収いたします。

11. 合宿当日の集合場所

阪大学生、外国人研究者の方は豊中キャンパスもしくは吹田キャンパスに集合してください。どちらのキャンパスからもバスは発車します。

集合場所や時間に関する詳細は、後日お知らせいたします。

12. お問い合わせ先

下記の担当者、または各研究室の委員までお問い合わせください。

広報担当者（西村徹）：sj004083@fbs.osaka-u.ac.jp

実行委員長（三須晃裕）：aki_misu@fbs.osaka-u.ac.jp